

# 平成15年3月期 決算説明会

---

平成15年5月15日  
日本証券金融株式会社



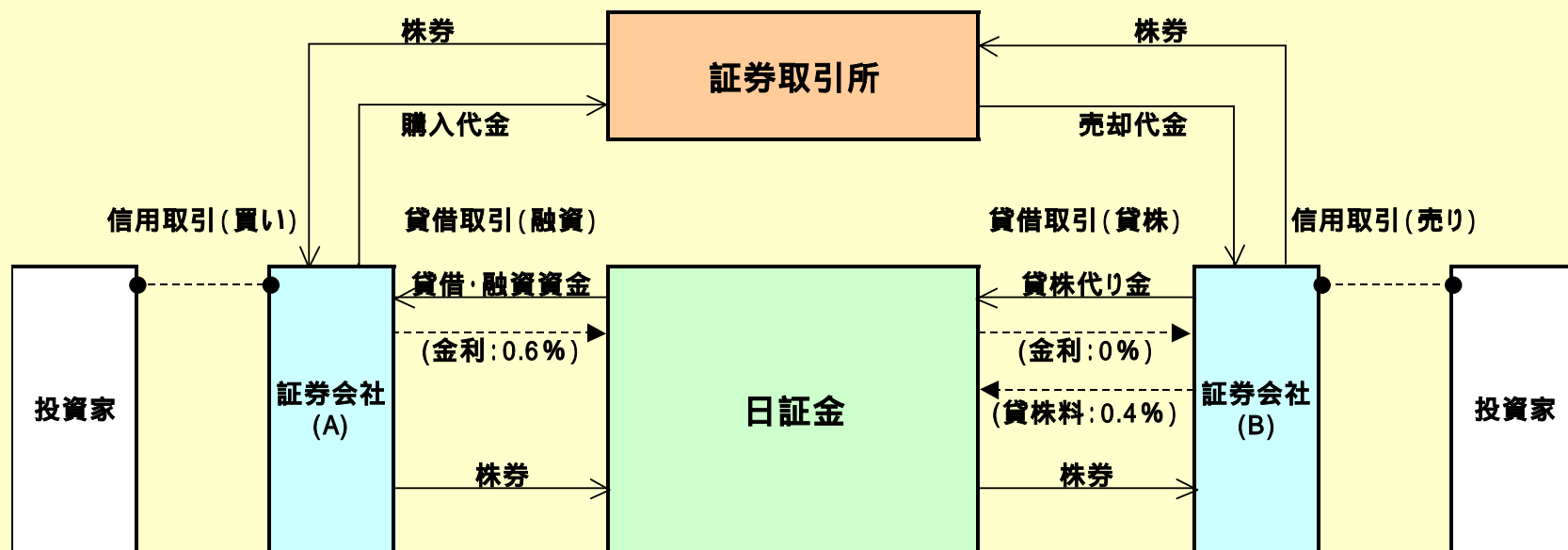
# 当期決算のポイント

---

1. 貸借取引貸株料の新設
2. 国債運用収益の寄与
3. 投資有価証券の売却・評価損
4. 連結対象会社の影響

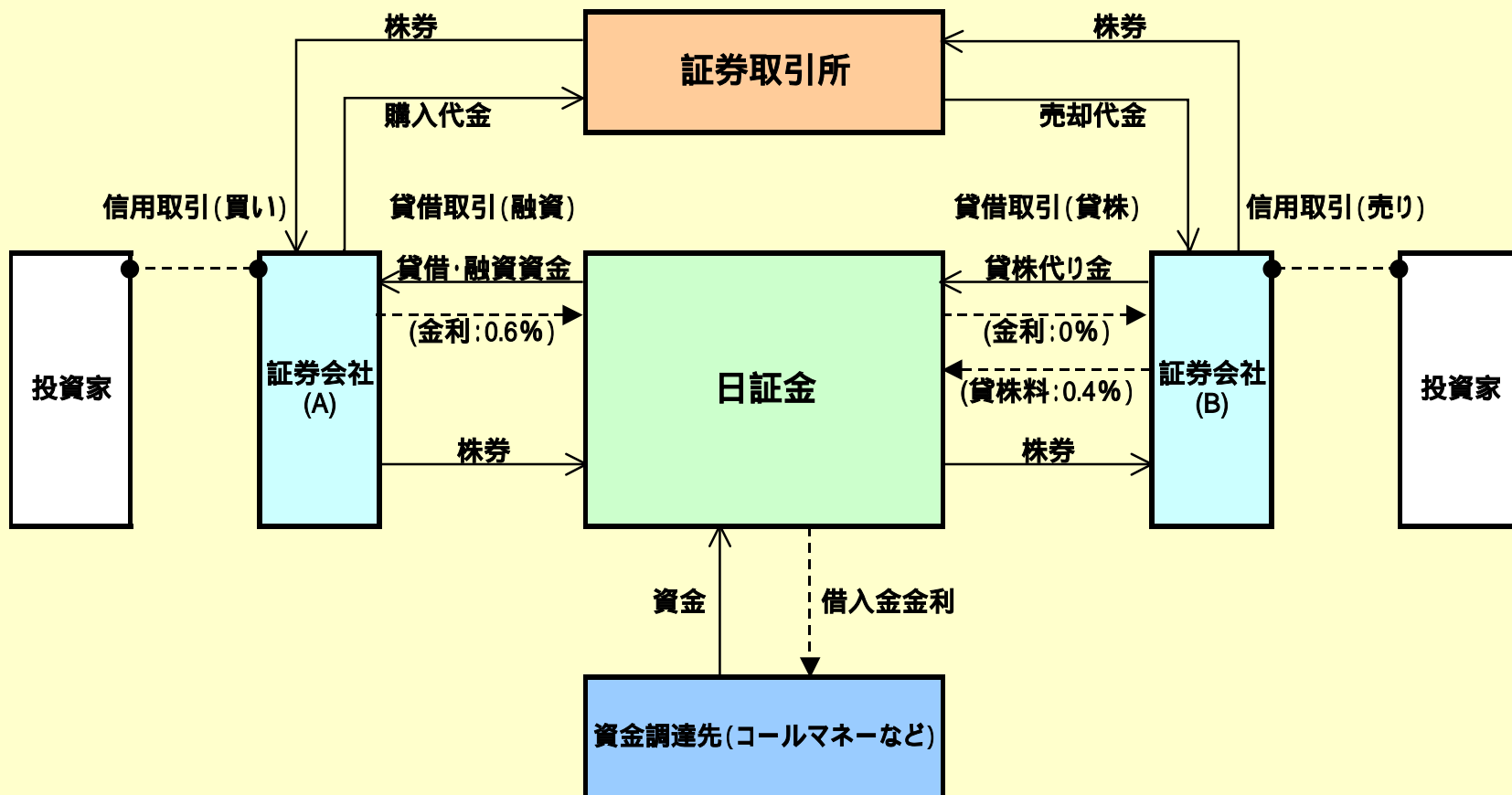
# 貸借取引のスキーム図(1)

## 融資・貸株同額の場合



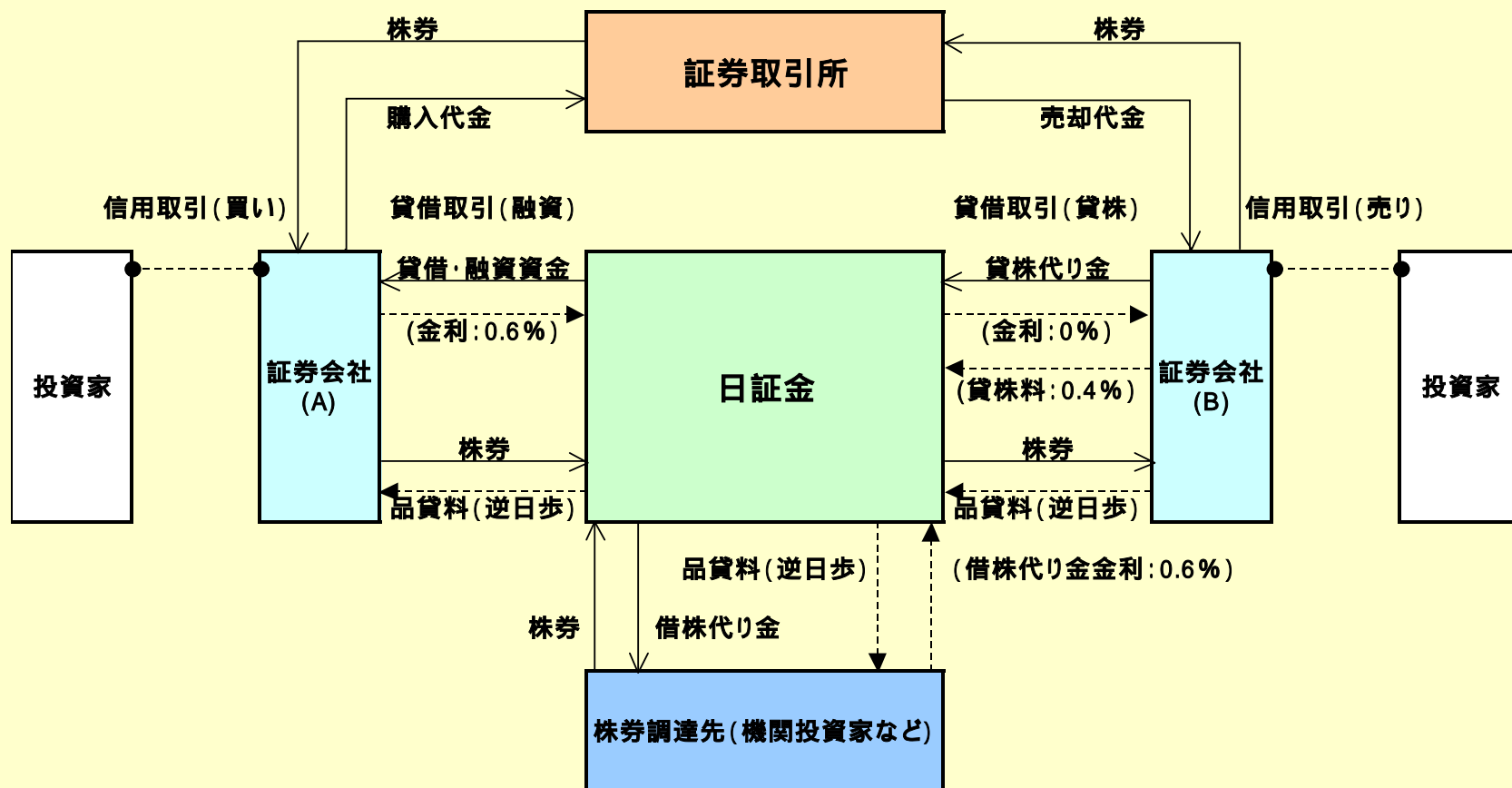
# 貸借取引のスキーム図(2)

## 融資超過の場合



# 貸借取引のスキーム図(3)

## 貸株超過の場合

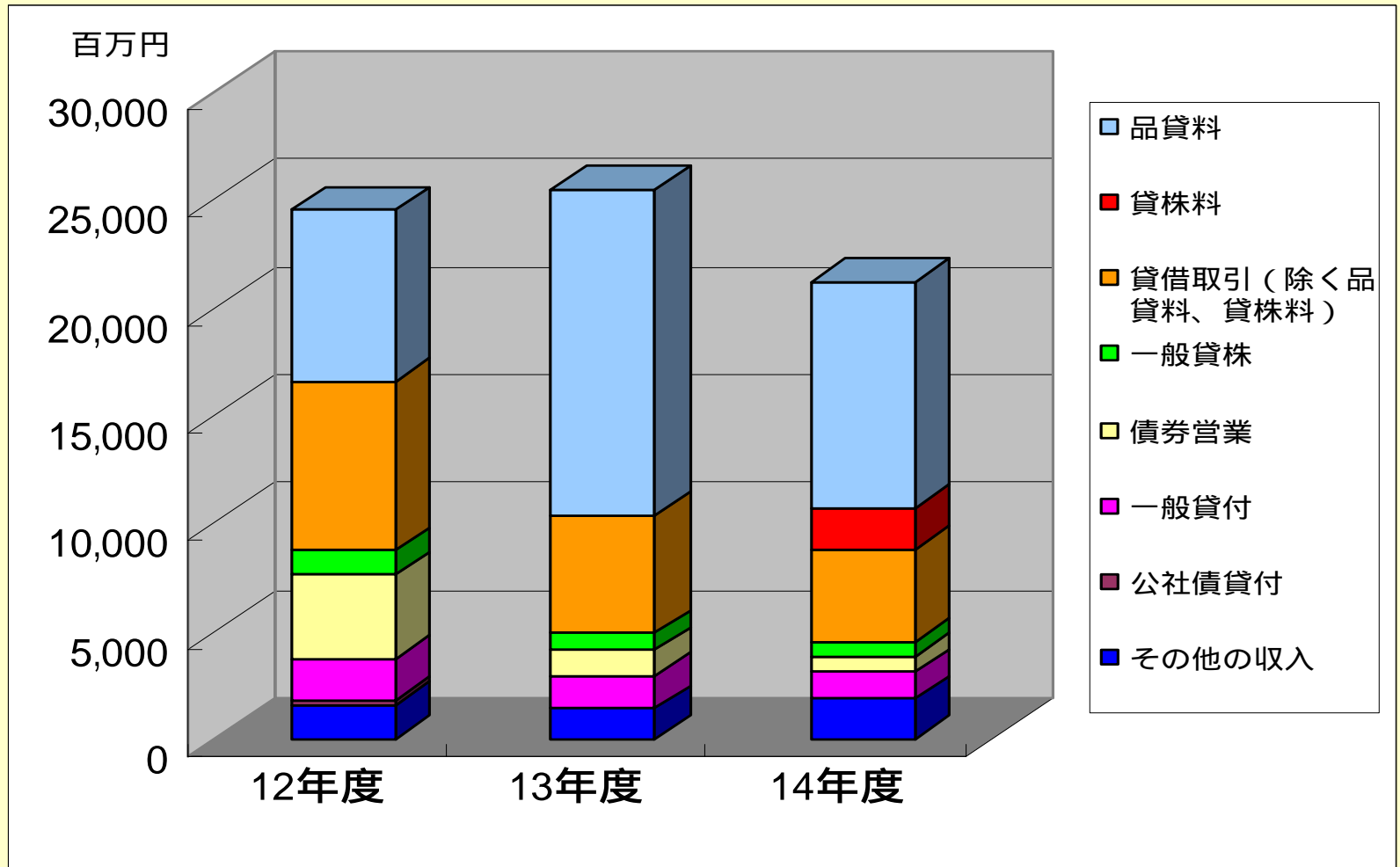


# 単独決算の状況

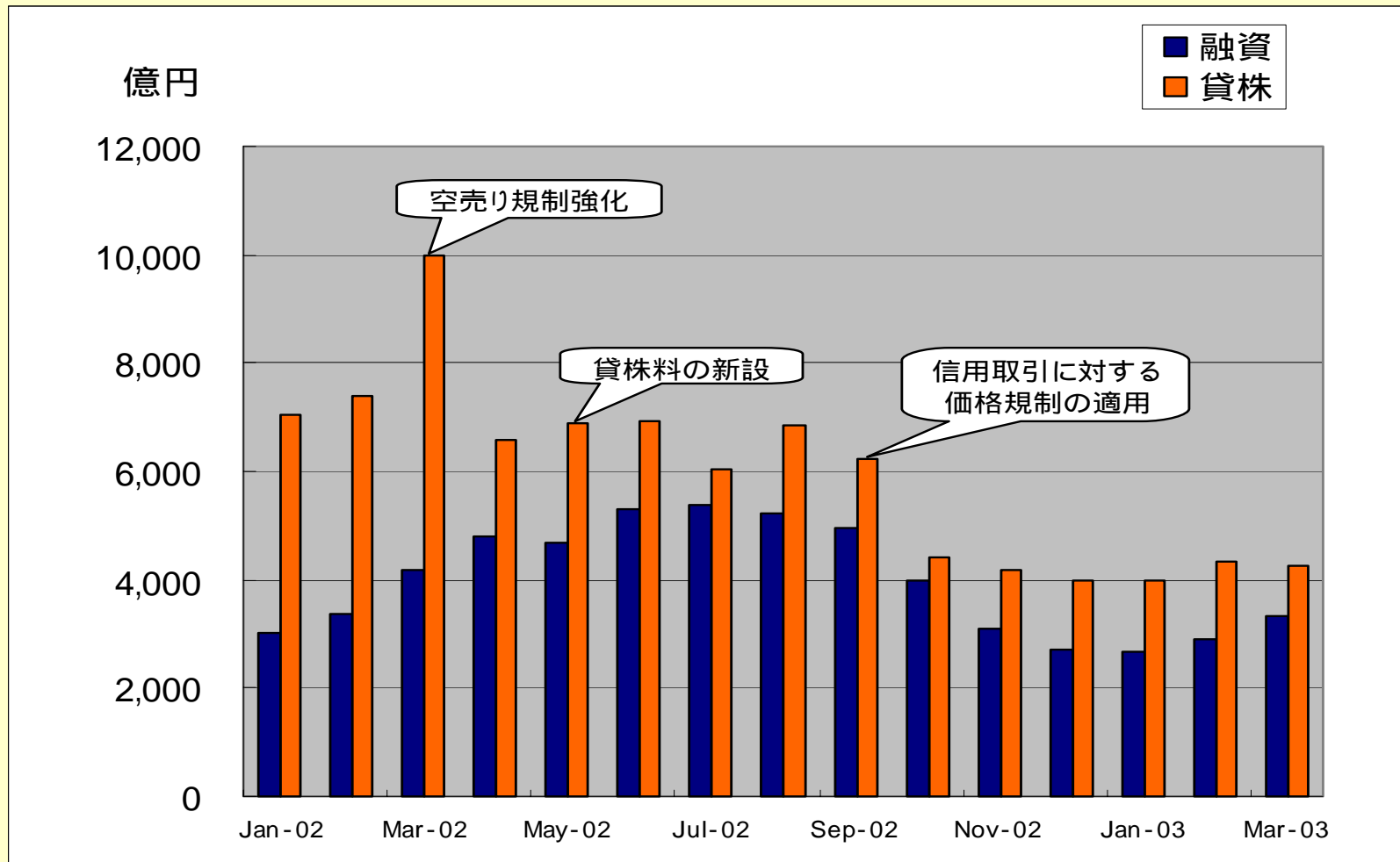
単位:百万円

	当 期	前 期	比 較
営業収益	21,190	25,484	4,294 ( 16.9% )
除く品貸料	10,721	10,397	323 ( 3.1% )
経常利益	2,679	1,446	1,232 ( 85.2% )
当期純利益	957	1,248	291 ( 23.3% )

# 部門別営業収益の推移



# 貸借取引月別平残推移







# 国債の保有とその運用益

---

- 資産勘定の有価証券項目が大幅増  
国債保有残高が約5,400億円増加  
運用益(利息・償還益等)増加  
約14億円の運用益  
(「営業収益」中の「その他」勘定)

# 投資有価証券の売却・評価損

## ■ 持合い株式の売却・評価損増加

単位:百万円

		当期	前期	増減
特別損益	投資有価証券売却益	222	-	222
	投資有価証券売却損	559	332	227
	投資有価証券評価損	1,183	-	1,183
	その他共合計	1,089	586	1,675



# 連結会社の概況

---

## ■ 子会社

日証金信託銀行

増収増益

日本ビルディング

横ばい

日本事務サービス

横ばい

## ■ 持分法適用会社

日本証券代行

減収・赤字

日本電子計算

横ばい



# 日証金信託銀行の概況

単位:百万円

	当期	前期	増加額
経常収益	3,132	1,694	1,438
経常利益	2,091	947	1,143
当期純利益	1,210	547	663

- 債券(主に国債・金融債)運用益の寄与
- 貸出や短期金融市場での運用も順調



# 日証金信託銀行の業務展開

---

- 貸出金は貸付手法を多様化  
政府保証付き貸出やシンジケート・ローンへの  
取組
- 効率的な資金調達・運用に注力  
スリムな組織を活かした機動的な対応
- 顧客分別金信託・・・受託社数トップだが横ばい
- 有価証券運用信託は依然低水準だが微増



# 連結決算の状況

単位:百万円

	当 期	前 期	比 較
営業収益	28,661	31,686	3,024 ( 9.5% )
除く品貸料	18,192	16,598	1,593 (9.59%)
経常利益	4,719	3,804	915 (24.0%)
当期純利益	1,746	2,989	1,242 ( 41.5%)



# 自社株買いの状況と対応

---

- 当期の買付

株数	5,556千株
----	---------

取得価額	2,195百万円
------	----------

- 今期の株主総会付議予定

株数	6,000千株
----	---------

取得価額	3,000百万円
------	----------



# 貸借対照表のポイント

---

- 当社単体 決算短信：P27, 28
  - ・「有価証券」「投資有価証券」の増加
  - ・「買現先勘定」の減少、「売現先勘定」の増加
  - ・「借入有価証券代り金」「貸付有価証券代り金」の減少
- 日証金信託銀行 決算概況：P8, 9
  - ・「有価証券」「貸出金」の増加
- 連結ベース 決算短信：P9, 10





# 次期の見通し(単独)

単位:百万円

	次期予想	当期実績	比較
営業収益	19,000	21,190	2,190
経常利益	1,800	2,679	879
当期純利益	1,000	957	43



# 次期の見通し(連結)

単位:百万円

	次期予想	当期実績	比較
営業収益	25,000	28,661	3,661
経常利益	3,200	4,719	1,519
当期純利益	1,800	1,746	54



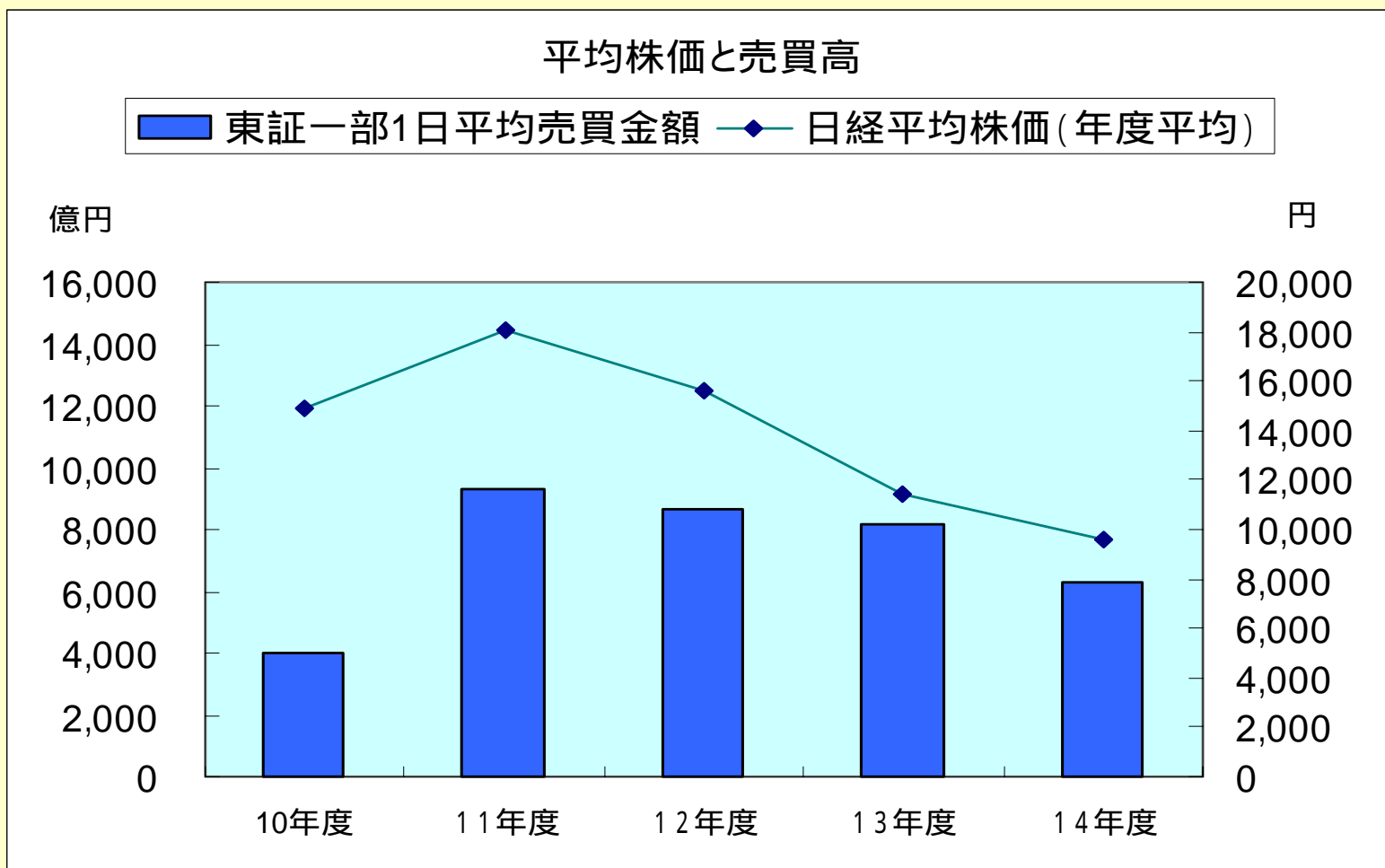
# 当期決算と今後の経営課題

---

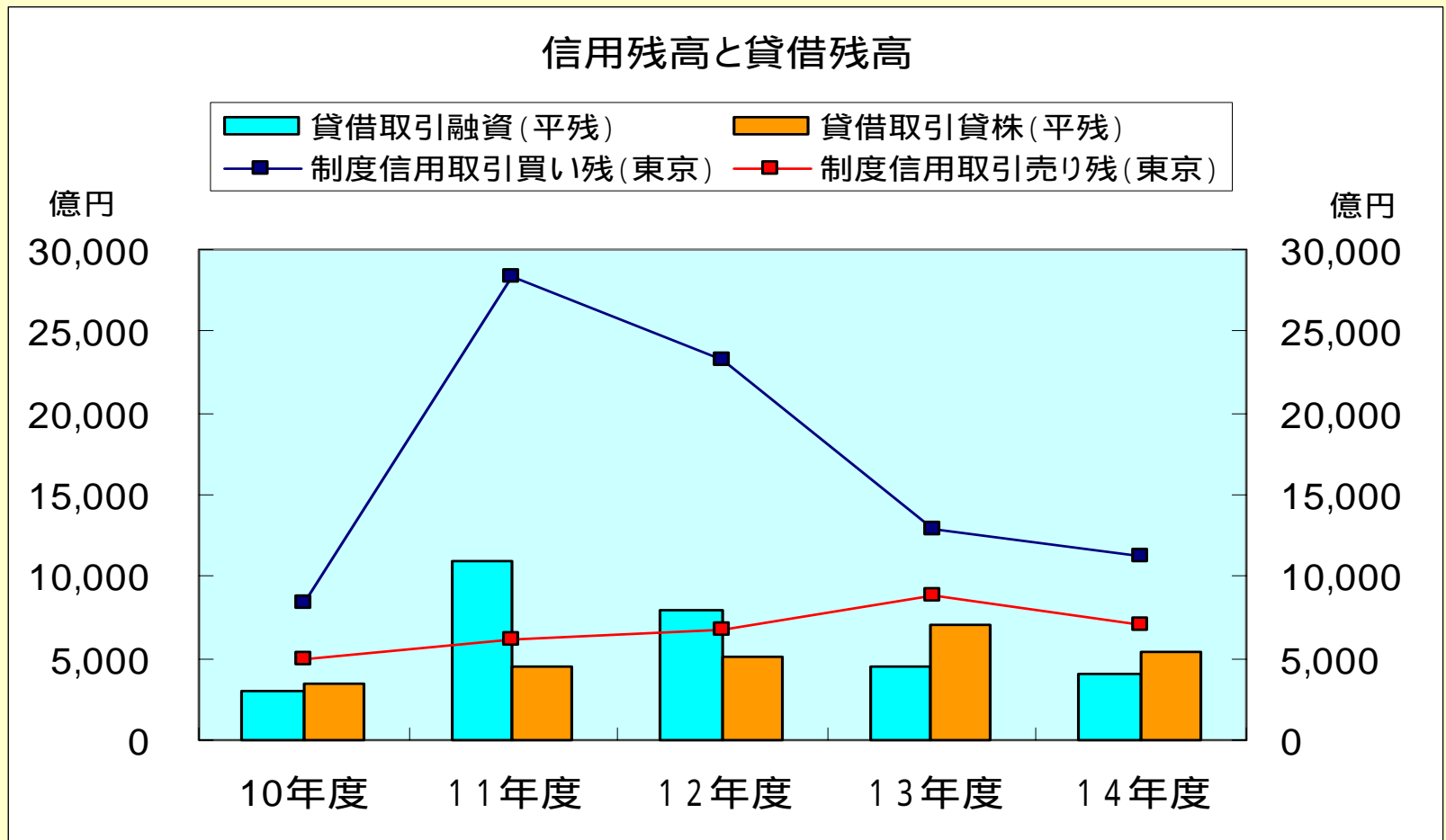
日本証券金融株式会社

取締役社長 小島邦夫

# 日経平均と売買高



# 信用残高と貸借残高





# 注意事項

---

本資料には、業績予想に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確定要因を内包するものです。将来の業績は、株式市況・金融情勢などにより、大幅に異なる可能性があります。